



TITLE:

同好會報

AUTHOR(S):

CITATION:

同好會報. 天界 1921, 1(6): 96-96

ISSUE DATE:

1921-03-25

URL:

<http://hdl.handle.net/2433/159559>

RIGHT:

同好會報

●二月例会 二月二十七日午後一時、京都大學にて開會、左の講演があつた。

「月の觀察」

山本理學士

當日は晴れ、金星等の觀望をすま著であつたが、生憎曇つたので觀望は延期。

●三月例会御流れ 三月十六日午後六時、京都大學で開くであつたが通知が非常に不備であつたため集まられた會員は只三名であつた。それで相談の末講演會は止したが、空はよく晴れてゐたので來會者一同は月と金星とを七時や四時で觀望した十時鏡は銀鏡のため取外し中。

●同志社支部演講

海老幹事の幹旋で第四回講演が去る二月九日午後三時より同志社理科學館で開かれ、次の講演があつた。

「天体と望遠鏡」

山本理學士

此の時は同志社所有の四吋望遠鏡を持ち出して實地の説明があり、講演後、太陽黒點を觀望した。

●洛南支部の活動 去る二月二十二日京都府女子師範學校の招きにより山本理學士と吉田(支部)幹事出張、全生徒三百名に次の講演をした

「此頃見る星座の話」

「木星の接近」(幻燈使用)

吉田幹事

山本理學士

同月二十七日吉田幹事は同地で開催された宗教々育會に幻燈畫を用ゐて天体の話をした

三月十二日には同支部今西幹事の幹旋で深草村第一小學校に山本理學士出張、左の講演をした

「宇宙の大きさ」

●出張講演 右の外、山本幹事は左の二個所に招かれて出張講演をした。

二月八日滋賀縣縣所町文化學校にて「天体と望遠鏡」(幻燈使用)

二月十二日京都府向日町英學塾にて「天文と人生」

三月二十四日京都市外上加茂小學校にて「太陽の話」

●大阪に於ける諸活動

豫報の如く三四月にかけて大阪市民博物館で我國空前の天文博覽會が開かれるので、我が同好會は京都の本部も大阪の支部も共に人多忙を極めてゐる。三月六日には同博物館で大阪支部發會式が開かれ、山本理學士の「星の運動について」講演があり、其の後茶話會があつた。

●岡山支部通信(水野)

一、二月二十七日(日曜)午後一時から岡山市立商業學校で支部例會を開催、左の講演があつて出席者は三十余名同四時閉會しました。

一、通俗的天體觀 岡山縣工業學校長 飯河三角

一、北斗七星 岡山市立商學校教諭 水野千里

一、支部會員數 一百三名

一、次回は來四月二十二日開會「月蝕」の觀測を行ひ併せて公開講演會を開き宮原理學士の「月の話」其の他ある豫定であります。

●支部新設

去る三月二十二日青池龍二郎氏を京都市中京支部なかけう幹事に依頼した。